償却資産申告書の記入例

令和　6　年　1　月　7　日

高萩市長 殿

令和６年度

償却資産申告書（償却資産課税台帳）

※所有者コード　1234567

所有者

1 住所（又は納税通知書送付先）　〒318-8511　高萩市本町１丁目100番地の1　（電話　0293－23－2115　）

2 氏名（法人にあたってはその名称及び代表者の氏名）　しょうきゃくしさんこうぎょう　だいひょうとりしまりやくしゃちょう　しょうきゃくたろう　㈱償却工業　代表取締役社長　償却太郎　（屋号　　）

3 個人番号又は法人番号　1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3

4 事業種目　機械製造業　（資本等の金額　10 百万円）

5 事業開始年月　昭和55 年 5 月

6 応答する者の係及び氏名　経理課　償却申子　（電話　0293-00-0000　）

7 税理士等の氏名　高萩　次郎　（電話　0293-11-1111　）

8 短縮耐用年数の承認　有・無

9 増加償却の届出　有・無

10 非課税資産　有・無

11 課税標準の特例　有・無

12 特別償却又は圧縮記帳　有・無

13 税務会計上の償却方法　定率法・定額法

14 青色申告　有・無

資産の種類	前年前に取得したもの（イ）	前年中に減少したもの（ロ）	前年中に取得したもの（ハ）	計（（イ）－（ロ）＋（ハ））（ニ）
1 構築物	3,000,000		2,000,000	5,000,000
2 機械及び装置	13,000,000	3,000,000	4,450,000	14,450,000
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品	5,000,000	2,000,000	2,550,000	55,500,000
7 合計	21,000,000	5,000,000	9,000,000	25,000,000

15 事業所等　① 本町1-100-1　② 春日町3-10-16　③

16 貸主の名称等　㈱高萩リース

17 事業所用家屋の所有区分　自己所有・借家

18 備考（添付書類等）

資産の種類	評価額（ホ）	※決定価格（ヘ）	※課税標準額（ト）
1 構築物			
2 機械及び装置			
3 船舶			
4 航空機			
5 車両及び運搬具			
6 工具、器具及び備品			
7 合計			

この部分は、電算処理申告をする場合のみ記入してください。

1 住所（又は納税通知書送付先）及び電話番号を記入してください。

2 氏名（法人にあたってはその名称及び代表者の氏名）を記入してください。

3 事業種目（資本等の金額）、事業開始年月、この申告に応答する者の係及び氏名、税理士等の氏名（経理を委託している場合）をそれぞれ記入してください。

4 それぞれ該当する方を○で囲んでください。

「８　短縮耐用年数の承認」の「有」に該当する場合は、国税局長より承認を受けたことが分かる書類として「承認通知書」の写しを添付してください。

「９　増加償却の届出」の「有」に該当する場合は、税務署受付印が押印された「届出書」の写しを添付してください。

「１０　非課税該当資産」または「１１　課税標準の特例」の「有」に該当する場合は、申請が必要ですので、税務課までお問い合わせください。

5 当該区内における資産の所在地を記入してください。

事業所等が１か所だけでその所在地が「住所」と同じ場合は記入不要です。

また、２か所以上ある場合は、主たる事務所等の番号を○で囲んでください。

6 借用資産がある場合は、貸主の名称等を記載してください。

7 令和６年１月１日時点の償却資産に該当する資産の所有状況を記入してください。

なお、次のような事項に該当する場合は、記入してください。

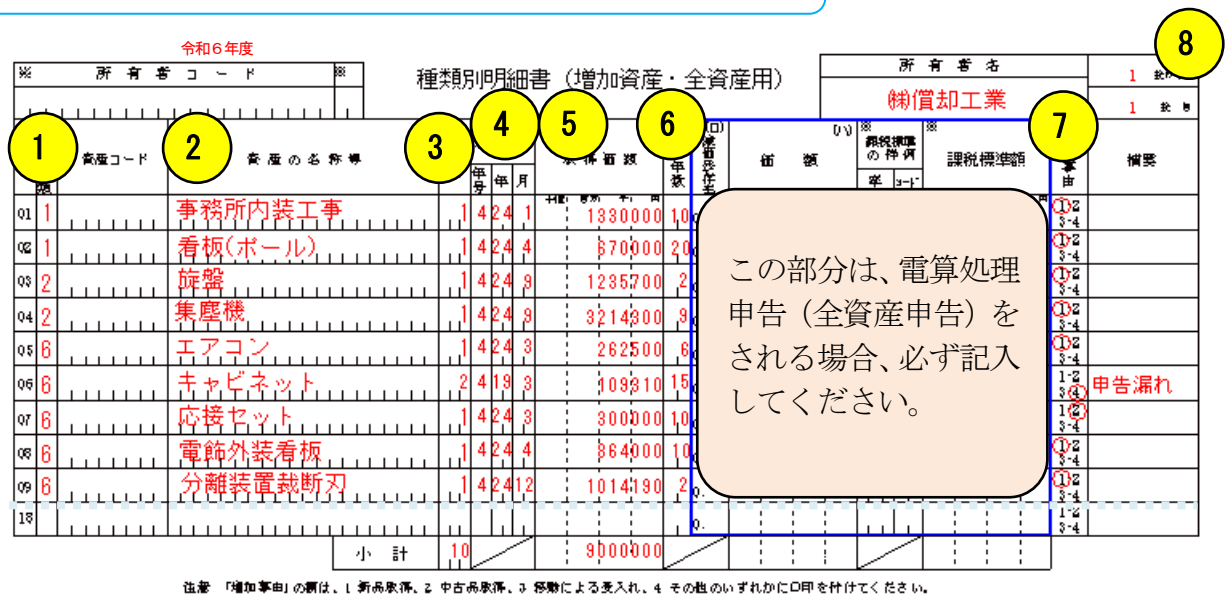
・共有で資産をお持ちの方……共有者の方々の住所・氏名廃業・休業・移転等の年月日

・課税標準の特例、非課税、各種承認・届出等がある方……添付した書類の名称

・書類の送付先の変更のある方……変更送付先住所を記入してください。

・償却資産を所有していない場合……「該当資産なし」と記入してください。

種類別明細書（増加資産・全資産用）の記入例



1 **資産の種類**…各資産に対応するコード（数字）を記入してください。

１…構築物（建築附帯設備）　２…機械及び装置　３…船舶　４…航空機
５…車両及び運搬具　６…工具、器具及び備品

2 **資産の名称等**…資産の名称や規格等を記入してください。

3 **数量**…個数又は台数を記入してください。

4 **取得年月**…取得した年月を和暦で記入してください。

年号欄：Ｒ又は５…令和、Ｈ又は４…平成、Ｓ又は３…昭和

中古取得や振替等による企業内異動の場合は、原始の取得年月を記入してください。

5 **取得価額**…当該資産の取得価額を記入してください。取得価額は運賃・手数料・据付費等を含みます。

また、法人税法または所得税法等による圧縮記帳を行った資産については、これを行わなかったものとした取得価額を記入してください。

なお、消費税については、法人税及び所得税において税込経理方式を採用していれば税込みとなり、税抜経理方式を採用していれば税抜きとなります。

6 **耐用年数**…「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」による耐用年数を記入してください。（※別添「**耐用年数表**」参照）

ただし、法人税法施行令第５７条第１項または所得税法施行令第１３０条第１項の規定により、国税局長の承認を受けて耐用年数の短縮を行っている場合は、その耐用年数を記入してください。

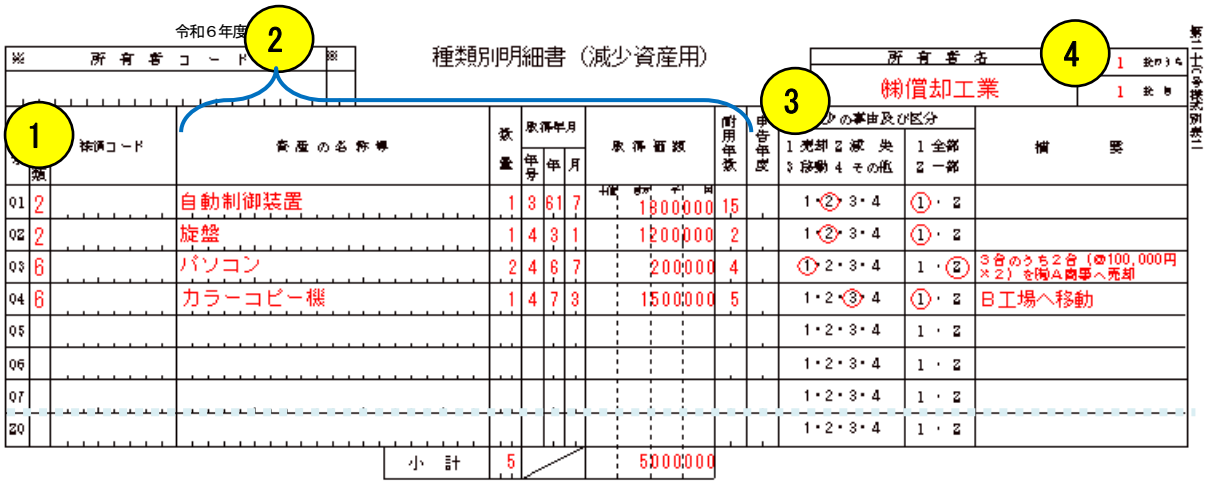
また、中古資産を取得した場合で、減価償却資産の耐用年数等に関する省令第３条第１・２項の規定による耐用年数（見積耐用年数）によるものは、その耐用年数を記入してください。

7 **増加事由**…用紙下方の注意書きを参考に該当する番号を○で囲んでください。

１…新品取得　２…中古取得　３…移動による受入れ　４…その他

8 **○枚のうち△枚目**…この明細書の総枚数とうち何枚目かを記入してください。

種類別明細書（減少資産用）の記入例



令和６年度

※ 所有者コード ※

種類別明細書（減少資産用）

所有者名 ㈱償却工業

1 枚のうち 1 枚目

	資産の種類	被減コード	資産の名称等	数量	取得年月 年号	年	月	取得価額	耐用年数	申告年度	減少の事由及び区分 1 売却 2 減失 3 移動 4 その他	1 全部 2 一部	備考
01	2		自動制御装置	1	3	6	1	1,800,000	15		1・②・3・4	①・2	
02	2		旋盤	1	4	3	1	1,200,000	2		1・②・3・4	①・2	
03	6		パソコン	2	4	6	7	200,000	4		①・2・3・4	1・②	３台のうち２台（@100,000円×２）を㈱A商事へ売却
04	6		カラーコピー機	1	4	7	3	1,500,000	5		1・2・③・4	①・2	B工場へ移動
05											1・2・3・4	1・2	
06											1・2・3・4	1・2	
07											1・2・3・4	1・2	
20											1・2・3・4	1・2	
			小計	5				5,000,000					

1 **資産の種類**…各資産に対応するコード（数字）を記入してください。

１…構築物（建築附帯設備）　２…機械及び装置　３…船舶　４…航空機
５…車両及び運搬具　６…工具、器具及び備品

2 **資産の名称等、数量、取得年月、取得価額、耐用年数**

減少した資産について、「種類別明細書（増加資産・全資産用）の記入例記」と同様に記入してください。

3 **減少の事由及び区分**…該当する番号を〇で囲んでください。

事由：　１…売却　２…滅失　３…移動　４…その他
区分：　１…全部　２…一部

4 **〇枚のうち△枚目**…この明細書の総枚数とうち何枚目かを記入してください。

【 資産の一部を減少した場合 】

一部減少した場合の取得価額は、減少した資産の数量・金額を記入してください。
（例・行番号 03：パソコンを３台（１台当たり 100,000 円）で取得し、うち２台を売却。）